



本倉 由貴 議長(後半)
(高梁中学校)



川月 直志 議長(前半)
(成羽中学校)



中村 友哉 議員
(高梁中学校)



浅沼 伸多 議員
(高梁中学校)



武並 晴香 議員
(高梁中学校)



山川 依里奈 議員
(高梁中学校)



田島 美来 議員
(高梁東中学校)



柳井 友衣子 議員
(高梁東中学校)

定住化に関する質問

高梁中学校 3年 山川 依里奈
2年 武並 晴香

市内には備中松山城や吹屋の町並みなど、数多くの魅力があり、映画ロケの誘致など、高梁市の名は広く一般に知られるようになりました。

私たちは、魅力的な町というものを考えてみました。例えば、大型のショッピングモールがあればいいな、子どもが安心して遊べる大型公園があればいいな、などと考えてみました。だが、観光としては魅力的でも、安易に定住に結びつくというものではなく、観光名所は住みたい町と同じではないのだと気づきました。

私たちが大人になる頃、このまま人口が減り、職業が減って市外で働く人が多くなり、高梁を出て行く人もいるかもしれません。50年後には人口が2万人を切っているという予想もあると聞きました。

高梁市を未来へ繋げるためには、お年寄りも若者も納得できるような町を作る必要があると思います。それが定住化につながるのではないのでしょうか。そのために、どのような対策をお考えでしょうか。

【答弁】 近藤市長

市の人口は、20年後に2万人を切る推計になっています。この推計どおりにならないように、将来のまちづくりを考える「高梁・まち・人・しごと総合戦略」を今年策定し、雇用の問題、人口の自然増減の問題、転入・転出の問題、地域間交流・地域連携、人づくりの5つの柱をあげています。

高梁へ移住を希望される方が、一番のポイントとしてあげるのが「教育はどうなのか」、「地域の医療はどうなのか」。他にも要因はいろいろありますが、その2つが大きな要因になっています。

これからのまちづくりについては、いろいろなことを組み合わせながら進めていく必要があります。観光も一つの手段ですが、定住を考える時、教育と医療・福祉、働く場所が重要なポイントだと思います。

市として、今の現状を皆さんにしっかりお知らせし、高梁に住んでくれる人ももちろんですが、高梁に魅力を持っていただくために、総合戦略を中心に、力を入れて取り組んでいこうと思っています。

福祉に関する質問

高梁中学校 3年 浅沼 伸多
3年 中村 友哉

今日の日本では、少子高齢化が進み、高梁市でも高齢化の進行が著しく、深刻な問題となっています。このままでは、将来、高齢者の割合が増え、介護をする若い人たちの負担が大きくなってしまいます。また、負担を抱えた人たちが頼る介護施設や老人ホームの介護士の人数が、年々足りなくなっているという話を聞いたことがあります。

そこで、私は介護士ではない人でも介護ができるように、介護についての知識を学ぶことができれば、たとえ自宅でも今よりもずっと適切な介護ができると思います。

しかし、その方法やシステムを学ぶ機会があることを知らない人や参加しようとしても時間的、人力的余裕、財源など、多くの解決すべき問題があるだろうと思います。

私たちをはじめ、若い人たちが、福祉の仕事についての知識を得にくくことの必要性について、どのように捉えておられますか。

【答弁】 近藤市長

市の高齢化率は38・31%、2・6人で1人の高齢者を支えているのが現状で、将来的には、人口の半分が高齢者という推定になっています。これからは、その地域に暮らすみんなで、福祉、サービスをどう考えていくかが大きな課題になっていきます。元気な高齢者をはじめ、一緒に暮らしている人で助け合いができる仕組みづくりを市としても支えていこうと考えています。

高梁中学校でも毎年、介護保険事業所と一緒に認知症サポートの研修・講座を行っています。介護に対する正しい理解を若い人がしっかりと持っていかないといけない時代だと思っています。「私たちも何かできることがあればお手伝いしよう」という気持ちを持つことが一番だと思っています。

高梁市として、皆さんが介護や福祉に興味を持ってもらえる場、接する機会を多く作っていかうと考えています。そこに参加していただき、理解や知識を深めていただければと思います。

外国の方々に向けて町をPR

高梁東中学校 3年 柳井 友衣子
3年 田島 美来

高梁には素敵な町並みや山城、自然がたくさんあります。今、高梁市が行っている外国の方へ町をPRする取り組みについて教えてください。

私たちは、天空の山城「備中松山城」に外国の方を呼ぶ3つのアイデアを考えました。①登山道をトレイルランニングコースとして整備 ②マウンテンバイクのコースとして林道を作る ③備中松山城と高梁川河川敷をワイヤーでつなぎ、一気に下ることが出来るアトラクションを作るなど、アウトドアスポーツと山城が同時に楽しめるスポットを整備することです。

市街地から遠く、地元の人もなかなか訪れることがない備中松山城ですが、このように楽しめるアトラクションや自然と歴史を生かした町おこしをすることで、外国の方をはじめ、たくさんの方が集まり、私たちの暮らす高梁市がさらに発展すると思います。町が賑やかで、そしてたくさんの方の文化交流ができる高梁市であることが私たちの願いです。

【答弁】 近藤市長

市への観光客は年々増えており、外国の方も多く見かけるようになってきました。外国の方への対応として、英語版の観光パンフレットなど多言語での紹介や無料のWiFiスポットの整備、外国の方が比較的安価に滞在・宿泊できるゲストハウス(成羽町吹屋)などがあります。

ご提案のあった3つのアイデアは非常に面白いと思います。備中松山城周辺では難しいかもしれませんが、一考の余地があると思います。

また、市内には、槽井地区の高梁美しい森をはじめ、中国自然歩道や備中町のフリークライミング場などの施設、10月開催しているヒルクライムレースなど、今あるものを利用していただくことも1つだと思えます。

このような取り組みは、外国の方だけではなく、日本人、高梁市民にとっても楽しいことだと思います。ご提案のあったアイデアを含め、地域が元気になるような仕掛けを作っていきたいと思っています。ぜひ、皆さんからも市へ提案していただければと思います。